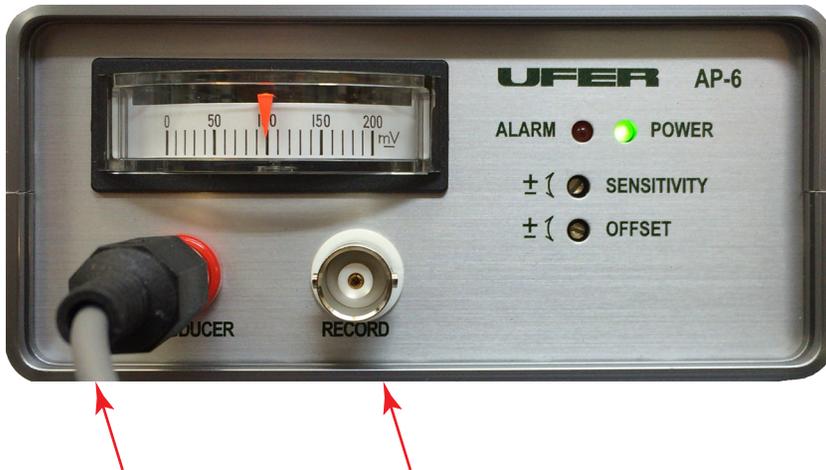


アンプ AP-6 接続方法



1. トランスデューサーのコードをアンプの赤色のコネクタに接続してください。

2. レコーダー用コードをアンプの BNC コネクタに接続し、他端をレコーダーの入力ターミナル（赤色；プラス、青色；マイナス）に接続してください。

3. レコーダーの測定レンジを 1v の位置にしてから電源を入れてください。

4. 標本収縮の大きさによって、レコーダーの測定レンジの切り替えでグラフの解析に最良の条件を選択してください。

5. トランスデューサー本体には、栄養液が付着しないように取り扱ってください。

6. 電源は専用の電建 AP-AD2 を使用し、アンプ裏面の DC24V IN/OUT プラグに差し込んで下さい。このプラグはスルーになっていますので、左右のプラグのどちらに IN/OUT を接続していただきます。2チャンネル以降の増設は、電源接続ケーブルで AP-6 を 4 台まで接続できます。

AP-6



正面

AP-AD2



AC100V

背面

アンプ AP-6 の OFFSET と SENSITIVITY の調整



トランスデューサーを接続後、電源を入れて無負荷、負荷 1g、2g の時の出力を調整します。
出荷段階で調整していますが、実験の前には電源投入後 10 分程度してから調整の確認をして下さい。
レコーダーは接続しなくても動作しますが、トランスデューサーは必ず接続して下さい。未接続や断線の場合は ALARM が点灯（赤）します。



トランスデューサーに負荷をかけない状態で、OFFSET のボリュームをマイナスドライバーで回してメーターを 0mV に合わせます。



トランスデューサーに 1g の負荷をかけます。
SENSITIVITY のボリュームをマイナスドライバーで回してメーターを 100mV に合わせます。



トランスデューサーに 2g の負荷をかけます。
SENSITIVITY のボリュームをマイナスドライバーで回してメーターを 200mV に合わせます。



再びトランスデューサーに負荷をかけない状態で 0mV を示すかを確認し、もしもずれている場合は OFFSET のボリュームをマイナスドライバーで回してメーターを 0mV に合わせます。

トランスデューサーに 1g、2g の負荷をかけたときに 100mV、200mV を示すことを確認して下さい。
もしもずれている場合は SENSITIVITY のボリュームをマイナスドライバーで回してメーターを合わせます。

表示が安定しましたら初期設定は完了です。